

制定日：2015/01/27

安全データシート

製品名： アメリカンフラワーD i p No.2 クリヤー

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称： 酢酸綿ワッカー
製品コード： 1188100050
会社名： 株式会社トウペ
住所： 三重県伊賀市柘植町2700
電話番号： 0595-45-7317
緊急時の電話番号： 0595-45-4131
FAX番号： 0595-45-6248
メールアドレス：
推奨用途及び使用上の制限： DIPアート用

2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性

火薬類	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス	分類対象外
高圧ガス	分類対象外
引火性液体	区分2
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	分類対象外
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外
有機過氧化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類対象外

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	区分外
急性毒性（吸入：ガス）	分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	区分5
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	区分3
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2
呼吸器感作性（固体／液体）	分類できない
呼吸器感作性（気体）	分類できない
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	区分外
生殖毒性	区分1 B
授乳影響	分類できない
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	
区分1（中枢神経系、腎臓、全身毒性、呼吸器系、神経、全身）	
区分2（肝臓）	
区分3（気道刺激性、麻酔作用）	
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	
区分1	
区分2（肝臓、腎臓、脾臓、血管系、血液）	
吸引性呼吸器有害性	分類対象外

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	区分外
水生環境慢性有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 危険

危険有害性情報：

引火性の高い液体および蒸気
吸入すると有害のおそれ
軽度の皮膚刺激
重篤な眼への刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
臓器の障害。(中枢神経系、腎臓、全身毒性、呼吸器系、神経、全身)
臓器の障害のおそれ(肝臓)
呼吸刺激を起こすおそれ、または、眠気およびめまいのおそれ(気道刺激性、麻酔作用)
長期にわたる、または、反復暴露により臓器を損傷
長期にわたる、または、反復暴露により臓器を損傷のおそれ(肝臓、腎臓、脾臓、血管系、血液)

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙
容器を密閉しておくこと。
製品を積みなおす場合は容器および受器を接地すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
防爆型の機器を使用すること。
火花を発生しない工具を使用すること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
取扱い後はよく手などを洗うこと。
保護手袋および保護眼鏡/保護面を着用すること。
必要に応じて個人用保護具を使用すること。

【保管】

涼しい所/換気の良い場所で保管すること。
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

混合物

化学物質名	CAS番号	濃度範囲 (重量%)	官報公示整理番号 (化審法)
エチレングリコールモノメチルエーテル	109-86-4	1～5	2-405
ジアセトンアルコール	123-42-2	5～10	2-587
フタル酸ジメチル	131-11-3	1～5	3-1301
イソプロピルアルコール	67-63-0	5～10	2-207
アセトン	67-64-1	60～65	2-542

特化則

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移すこと。
 身体を毛布などで覆い、保温して安静を保つこと。
 呼吸が停止している時は人工呼吸を行うこと。
 呼吸困難の時は酸素吸入を行うこと。

皮膚に付着した場合

汚染された衣服や靴を脱がせ、隔離すること。必要であれば衣類などを切断する。
 漏洩物に触れたときは、直ちに流水で皮膚を最低15～20分間洗浄すること。
 石鹼と水/シャワーで皮膚を洗うこと。

眼に入った場合

水で最低15～20分間注意深く洗うこと。
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
 コンタクトレンズが眼球に固着しているときには外さないこと。
 洗浄の際は、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたの隅々まで水が、よく行き渡るように行うこと。

飲み込んだ場合

揮発性の高いものや腐食性の高いものは、誤って飲み込んだ場合、吐かせるとそれぞれ急性気管支炎や肺炎を起こしたり、消化器系粘膜の腐食を起こすことがあるので原則として吐かせないこと。
 意識のないとき、吐かせたりしてはならないし、また何も与えてはならない。

応急措置をする者の保護

救援者は、保護手袋や保護眼鏡などの保護具を着用し、衣類や手につかないように注意を払うこと。

5. 火災時の措置

消火剤：

二酸化炭素、粉末消火剤、泡消火剤、散水（霧状）

使ってはならない消火剤：

棒状注水

特有の危険有害性：

極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。

加熱により容器が爆発するおそれがある。

火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

引火性液体及び蒸気。

特有の消火方法：

引火点が極めて低い：散水以外の消火剤で消火の効果がない大きな火災の場合には散水する。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護：

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区画として隔離する。

関係者以外は近づけない。

風上に留まる。

低地から離れる。

密閉された場所に入る前に換気する。

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

作業者は適切な保護具を着用し、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項：

河川等に排出され、環境中へ影響を起ささないように注意する。

環境への放出を避けること。

回収、中和：

乾燥した土、砂あるいは不燃性物質で吸収し、あるいは覆って容器に移すこと。

封じ込め及び浄化の方法・機材：

危険でなければ漏れを止める。

二次災害の防止策：

全ての発火源を取り除く（近傍での喫煙、火花や火災の禁止）
排水溝、下水溝、地下室、あるいは狭い場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気：

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体排気を行う。

安全取扱い注意事項：

使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙
容器を密閉しておくこと。
製品を積みなおす場合は容器および受器を接地すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
防爆型の機器を使用すること。
火花を発生しない工具を使用すること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
取扱い後はよく手などを洗うこと。
保護手袋および保護眼鏡／保護面を着用すること。
必要に応じて個人用保護具を使用すること。

接触回避：

「10. 安定性及び反応性」を参照。

保管

技術的対策：

保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。
保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適当な傾斜をつけ、
かつ、貯留設備を設けること。
保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。
保管場所は、屋根を不燃材料で造るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふきかつ、
天井を設けないこと。
貯蔵倉庫には、危険物を貯蔵し、または取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備
を設ける。

混触禁止物質

「10. 安定性及び反応性」を参照

保管条件

- 涼しい所／換気の良い場所で保管すること。
- 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
- 施錠して保管すること。

容器包装材料

消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

化学物質名	管理濃度	許容濃度 日本産衛学会 (2007年版)	許容濃度 ACGIH (2007年版)	IARC	LD ₅₀
エチレング ^レ リコ ^ル モノ ^メ チ ^ル エー ^テ ル	0.1ppm	0.1ppm	0.1ppm	-	2435mg/kg
ジ ^メ アセ ^ト ン ^ア ル ^コ ール	-	-	50ppm		4000mg/kg
フタル ^酸 ジ ^メ チ ^ル					5158mg/kg
イソ ^プ ロ ^ピ ル ^ア ル ^コ ール	200ppm	400ppm		-	3437mg/kg
アセ ^ト ン	500ppm	200ppm		-	5000mg/kg

設備対策：

- 気中濃度を推奨された管理濃度・許容濃度以下に保つために、工程の密閉化、局所排気その他の設備対策を使用する。
- 危険物の場合、静電気放電に対する予防措置を講ずる。
- 貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。

保護具

- 呼吸器の保護具： 防毒マスク（有機ガス用）使用。ただし、粉体塗料の場合は防塵マスクを使用すること。
- 手の保護具： 耐油性（不浸透性）の手袋
- 目の保護具： 保護眼鏡または安全ゴーグル
- 皮膚及び身体の保護具： 長靴、前掛け、保護衣
- 衛生対策： この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後はよく洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色	液体 クリヤー
臭い	溶剤臭
p H	-
融点・凝固点 (°C)	データなし
沸点 (初留点) (°C)	データなし
引火点 (°C)	-9.0
燃焼又は爆発範囲 (%)	1.8-13
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重	0.92
溶解度	データなし
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度 (°C)	540
分解温度 (°C)	データなし
不揮発分 (重量%)	21
蒸発速度	データなし
燃焼性	データなし
アミン価	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	:	通常の条件下では安定である。
危険有害反応可能性	:	特に情報を有していない。
避けるべき条件	:	熱、火花、裸火、高温
混触危険物質	:	特に情報を有していない。
危険有害な分解生成物	:	燃焼により、CO, NO _x を発生する。

1 1. 有害性情報

	ATEmix	未知データ率 (%)
急性毒性 (経口)	7918.3mg/kg	0.28
急性毒性 (経皮)	12390.2mg/kg	0.28
急性毒性 (吸入：ガス)	データなし	0.28
急性毒性 (吸入：蒸気)	10610.5mg/kg	4.05
急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト)	データなし	85.39
皮膚腐食性・刺激性	区分3	
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2	
呼吸器感作性 (固体/液体)	分類できない	
呼吸器感作性 (気体)	分類できない	
皮膚感作性	区分1	
生殖細胞変異原性	区分外	
発がん性	区分外	
生殖毒性	区分1 B	
授乳影響	分類できない	
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)		
区分1 (中枢神経系、腎臓、全身毒性、呼吸器系、神経、全身)		
区分2 (肝臓)		
区分3 (気道刺激性、麻酔作用)		
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)		
区分1		
区分2 (肝臓、腎臓、脾臓、血管系、血液)		
吸引性呼吸器有害性	分類対象外	

1 2. 環境影響情報

生態毒性 :
 情報なし

残留性・分解性 :
 情報なし

生体蓄積性 :
 情報なし

土壌中の移動性 :
 情報なし

1 3. 廃棄上の注意：

残余廃棄物：

廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理をする。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さないこと。

廃水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

廃塗料などを焼却処理をする場合には、珪藻土等に吸着させて開放型の焼却炉で少量づつ焼却する。ただし、ダイオキシンなどの有害ガスが発生する恐れがある場合には、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約を結び処理すること。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装：

許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理すること。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報： IMOの規定に従う。
UN No.： 1263
Proper Shipping Name： PAINTorPAINT RELATED MATERIAL
Class： 3
Sub Risk： -
Packing Group： II
Marine Pollutant： Not applicable

航空規制情報： ICAO/IATAの規定に従う。
UN No.： 1263
Proper Shipping Name： PAINTorPAINT RELATED MATERIAL
Class： 3
Sub Risk： -
Packing Group： II

国内規制

陸上規制情報： 消防法の規定に従う。

海上規制情報： 船舶安全法の規定に従う。
国連番号： 1263
品名： 塗料又は塗料関連物質
クラス： 3
副次危険： -
容器等級： II
海洋汚染物質： 該当しない

航空規制情報： 航空法の規定に従う。
国連番号： 1263
品名： 塗料又は塗料関連物質
クラス： 3
副次危険： -
容器等級： II

特別の安全対策：

- ①危険物は当該危険物が転落し、又は危険物に収納した運搬容器が落下し転倒もしくは破損しないように積載すること。
- ②危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。
- ③危険物の運搬中危険物が著しく漏れるなど災害が発生するおそれがある場合には、災害を防止するための応急措置を講ずると共に、もよりの消防機関に通報すること。
- ④輸送に関しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
- ⑤食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
- ⑥移送時にイエローカードの保持又はイエローラベルが必要。

15. 適用法令

消防法： 第四類第1石油類 非水溶性

労働安全衛生法：

名称等を通知すべき物質

エチレングリコールモノメチルエーテル、ジアセトンアルコール、フタル酸ジメチル、イソプロピルアルコール、アセトン

名称等を表示すべき物質

エチレングリコールモノメチルエーテル、イソプロピルアルコール、アセトン

有機溶剤中毒予防規則（有機則）	第2種有機溶剤等
特定化学物質等障害予防規則（特化則）	該当しない
鉛中毒予防規則（鉛則）	該当しない

化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）

化学物質名	含有量(重量%)	指定区分	PRTR物質番号
エチレングリコールモノメチルエーテル	3.8	1種	58

毒物及び劇物取締法： 該当しない
 航空法： 引火性液体
 船舶安全法： 引火性液体
 海洋汚染防止法： 該当しない
 その他の法令： なし

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により予告なく改訂されることがあります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取り扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

この安全情報は、国の規制を含む、（社）日本塗料工業会の基準に基づくものでありますが、地方自治体の規制情報は含まれておりません。安全作業や排出・廃棄等の場合に配慮すべきことは、当該自治体の規制に従い対処してください。

常温乾燥型のアルキド樹脂系塗料は、塗料が付着した可燃物（ウエス、ダンボール等）や塗料カス、スプレーダストをまとめて放置すると自然発火のおそれがあるため、速やかに焼却処分するか、水を張った容器に浸して処理して下さい。

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主に対して安全性に十分に注意を払うよう指導してください。例えば、不特定多数の人が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症並びにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

参考文献

GHS対応MSDS・ラベル作成ガイドブック（混合物用（塗料用））/日塗工
 N I T E /製品評価技術基盤機構データベース
 化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS) /国連
 化学品安全管理データブック /化学日報社
 危険物船舶運送及び貯蔵規則 /国土交通省